

研究タイトル：

地域と連携した教育実践に関する研究

氏名：	山田 凧紗 / YAMADA, Nagisa	E-mail：	nyamada@kochi-ct.ac.jp
職名：	助教	学位：	修士(教育学)
所属学会・協会：	全国社会科教育学会、日本公民教育学会、社会系教科教育学会、日本生活科・総合的学習教育学会		
キーワード：	社会科教育学、市民性教育、主権者教育、地域連携		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・主権者教育 ・地域連携教育 ・外部人材活用 		



掲載不可

研究内容：

◆研究概要

学校教育において地域と連携した授業を行う機会が増えています。その背景には、予測困難な時代を生きる子どもたちに必要な力を学校と地域社会が共に育てて行こうという社会的な背景があります。高等学校では、2022年から「総合的な探究の時間」が新設され、実生活に根ざした課題に取り組む機会が増えています。そして、これらの学びは、生徒が地域との関わりを通じて自らの社会的役割を意識する貴重な機会となっています。私の研究関心は中でも、学校における地域連携が広がる中で、「地域と連携した教育が子どもにとってどのような意味をもつのか」ということです。

◆研究の問い

地域と連携した教育において、どのような授業を開発し実践することが学習者の社会形成力の育成に繋がるのか、実証的調査をもとにその教育的効果を明らかにしたい！

◆研究の目的

研究の「問い」をもとに、本研究の目的は以下の3つあります。

- ①国内外の研究を整理し、社会形成力の育成に資する教育の要件を明らかにする。
- ②社会形成力の育成を目的とした批判的視点を含む授業を開発する。
- ③授業実践を通じて教育効果を検証し、地域と連携した教育の意義を再考する。

①では、地域と連携した教育に関する国内外の先行研究を整理し、社会形成力を育むために必要な教育の要素やアプローチを明確にするために行います。次の②では、学習者が社会の問題に対して批判的に考え、積極的に地域に関わることを促すための授業モデルを開発します。授業を通して子どもたちが、地域や社会の課題に対して批判的視点を持ち、単なる社会の一員ではなく、より良い社会の構想・形成に貢献する自覚を深めさせることを授業のゴールに設定します。③では、開発した授業を実際に学校で実施し、地域と連携した教育が学習者の社会形成力に与える影響を実証的に検証します。

最終的に、地域と連携した教育の教育的意義を再評価し、今後の教育実践における課題と可能性を明確にするために研究に取り組んでいます。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	